国際協力事業団年報 1993

JICA LIBRARY
J1162865[8]

国際協力事業団
Japan International Cooperation Agency

国際協力事業団年報

1993

国際協力事業団

1162865【8】

国際協力事業団年報1993

第1部　国際協力と国際協力事業団

第2部　地域別・主要開発途上国別事業概要

第3部　1992年度総括事業実績

参　考　事業団の組織及び予算

国際協力事業団年報1993（資料編）

第4部　国別事業概要

第5部　事業実績・事業統計

〈表紙・裏表紙の写真〉

―国際協力フォトコンテスト応募作品―

表紙・右上　日本「研修生と地元小学生との田植え風景」　（山岡千賀子氏）

表紙・左中央　スリ・ランカ「よく育ったね　野菜作りの指導をするJOCV隊員」（二川　忠氏）

表紙・中央下　スリ・ランカ「南国の太陽の下――運動会で」　（伊東直子氏）

裏表紙　フィリピン「天真爛漫」　（臼井洋輔氏）

序

国際協力事業団（JICA）は1974年に設立されて以来、技術協力及び無償資金協力を中心に、開発途上国に対する政府ベースの開発協力の実施に携わってまいりました。

この間、わが国の経済力は飛躍的に発展し、国際協力に対する国民の関心と理解は着実に高まってきました。一方、世界トップの規模にまで成長したわが国の政府開発援助（ODA）の動向は、世界各国の注目するところとなっております。

冷戦終結後、世界は政治、経済、社会のあらゆる分野で大きな変革の時代を迎えております。軍事力に代わり経済力が、国際関係のなかで果たす役割が増大し、民主化、市場経済化を目指す国々への支援をいかに行っていくかが、国際社会の重要な課題となってきました。

他方、開発途上地域の諸国をみますと、被援助国を「卒業」し援助国としての歩みを開始している国、発展にとり残され、また人口爆発の重圧の下で貧困の拡大が進んでいる国、民主化と市場経済化への移行を目指して努力している国、新しく独立し国家建設を始めた国、地域紛争や内戦に陥り飢餓や難民の発生に苦しむ国等、ますます多様化が進んでおります。エイズや環境破壊といった地球規模の問題も開発途上地域では特に深刻となりつつあるのも厳然たる事実です。今月には東京で［アフリカ開発会議］が開催され、アフリカに対する援助が議論される予定ですが、今後こうした地域や国に個別の配慮をした対応が一層求められることになると思われます。

わが国は、こうした国際的環境の変化のなかで、昨年6月にODAの基本理念や重点項目等を［政府開発援助大綱］として発表し、本年6月にODA第5次中期目標を定め、ODAを国際社会に対する重要な貢献であるとして、これを一層充実していく方針を明らかにしました。

JICAは、こうしたわが国ODAの主要な実施機関として、重い責任を負い、重要な課題に取り組むべき立場にあります。このため多様化する開発途上国の具体的なニーズ及び変化の把握に努め、真に相手の役に立つ協力の実施を目指して体制を整備強化し、国際協力に対する内外の期待に応える努力を続けてまいりました。また、地球環境保全等グローバルな視点にも配慮しつつ、持続性のある質の高い協力を実施していきたいと考えております。

これら最近の国際情勢、開発途上国の動向を踏まえて、ここに1993年版「国際協力事業団年報」を刊行いたします。国際協力の実情並びに当事業団の事業についてご理解いただくための一助となれば幸いです。

1993年10月

国際協力事業団
総裁 柳谷謙介

目　　次

《本　編》

■第１部　国際協力と国際協力事業団
第１章　わが国の政府開発援助
第１節　政府開発援助の概要 ……3
第２節　わが国の政府開発援助の体制とそれを取りまく最近の状況 ……6
第２章　最近の主な動き
第１節　政府開発援助大綱と技術協力 ……9
第２節　国別アプローチによる事業実施計画の策定……11
第３節　環境・WID等地球規模の問題への協力 ……12
第４節　地方の国際化と国際協力……16
第５節　先進国・国際機関との連携……18
第６節　計画・評価機能の拡充・強化……19
第７節　インドシナ諸国への協力……20
第８節　中央アジア諸国への協力……22
第３章　事業の種類とその概要
第１節　援助効率促進事業……23
第２節　技術協力事業……29
第１　技術研修員受入事業……29
第２　青年招へい事業……37
第３　技術協力専門家派遣事業……38
第４　技術協力機材供与事業……40
第５　プロジェクト方式技術協力事業……41
第６　開発調査事業……46
第３節　無償資金協力事業……53
第４節　青年海外協力隊派遣事業……58
第５節　開発協力事業……63
第６節　海外移住事業……66
第７節　災害援助等協力事業……71
第８節　技術協力専門家養成確保事業……80
第９節　技術協力専門家等福利厚生事業……85

■第２部　地域別・主要開発途上国別事業概要
第１章　アジア地域［Ｉ］（東・東南アジア）
第１節　地域概説……89
第２節　カンボディア……93
第３節　中国……96

第4節　インドネシア……99
第5節　マレイシア……102
第6節　モンゴル……105
第7節　フィリピン……107
第8節　シンガポール……110
第9節　タイ……112
第2章　アジア地域［II］（南西アジア）
第1節　地域概説……116
第2節　バングラデシュ……118
第3節　インド……121
第4節　ネパール……124
第5節　パキスタン……126
第6節　スリ・ランカ……130
第3章　中近東地域
第1節　地域概説……133
第2節　エジプト……135
第3節　ジョルダン……137
第4節　モロッコ……139
第5節　サウディ・アラビア……140
第6節　トルコ……142
第4章　アフリカ地域
第1節　地域概説……144
第2節　ガーナ……146
第3節　ケニア……148
第4節　セネガル……150
第5節　タンザニア……151
第6節　ザンビア……153
第5章　中南米地域
第1節　地域概説……155
第2節　アルゼンティン……160
第3節　ボリヴィア……162
第4節　ブラジル……165
第5節　チリ……168
第6節　コスタ・リカ……170
第7節　メキシコ……172
第8節　パラグァイ……174
第6章　オセアニア地域
第1節　地域概説……177
第2節　フィジー……179
第3節　パプア・ニューギニア……182

第4節　西サモア ……184
第7章　ヨーロッパ地域
第1節　地域概説 ……187
第2節　ハンガリー ……189
第3節　ポーランド ……190

■第3部　1992年度総括事業実績
第1　形態別人数実積 ……195
1．アジア地域 ……195
2．中近東地域 ……196
3．アフリカ地域 ……197
4．中南米地域 ……198
5．オセアニア地域 ……199
6．ヨーロッパ地域 ……200
7．国際機関 ……201
8．全世界 ……202
第2　事業別人数実績 ……203
第3　事業別経費実績 ……204

■参　考　事業団の組織及び予算
第1　国際協力事業団の沿革 ……206
第2　組織と定員 ……208
第3　予算 ……209

■本文中の囲み記事
日本の経験をもとに民主主義、民主的行政などを紹介……33
消失した森林を地域ぐるみの活動によって再生……46
国際緊急援助隊の活動を追う……72
プログラム・アプローチの幕開け ……109
青年海外協力隊派遣取極めを締結 ……128
中東和平交渉とJICA業務の関連……137
中米人造り協力の核ー中米域内産業技術育成計画ースタート ……156
西サモアの台風災害復興への支援 ……185

■本文中の一覧表

集団研修コース……30
国際研修センター……35
プロジェクト方式技術協力……43
開発調査実施案件……48
無償資金協力・基本設計調査実施……55
青年海外協力隊派遣取極め締結国……61
国際緊急援助体制による国際緊急援助隊派遣及び物資供与実績……73